

1. 「おおいた医療ネット」が 7月1日(月)からスタートします

1. おおいた医療ネット（地域医療情報ネットワーク）とは

より良い医療サービスを提供するため、患者さんの同意のもと、地域の医療機関等（病院、診療所、薬局）が、ICTを活用して、診療情報（服薬状況、検査結果など）を相互に共有・閲覧し、市民の健康を支えていく仕組み。

おおいた医療ネットのメリット

- カード1枚を提示するだけで、診療情報が共有できる。
- 初めて受診する医療機関でも、これまでの服薬状況や検査結果等の診療情報が正確に伝わり、継続して適切な治療を受けられる。
- 飲み合わせが悪い薬の服薬を防ぐことができる。



おおいた医療ネットカード

【マイナ保険証による医療情報閲覧機能との比較】

- レントゲンやCT画像など扱う情報量が多く、迅速な情報共有が可能。
- コミュニケーション機能を活用した、施設間の連携が可能。

2. 利用の流れ

(1) 同意書の提出

参加医療機関や大分市保健所等に設置している同意書を、参加医療機関等に提出すると、「おおいた医療ネットカード」が後日郵送で交付される。

(2) カードの提示

「おおいた医療ネットカード」を受診する医療機関等に提示することで、サービスを利用できる。

※利用は任意で、おおいた医療ネットに関する説明を受け、診療情報の共有に同意した人が利用できる。

3. 参加施設数 136施設（令和6年5月31日時点）

4. 運営組織について

救急医療機関や大分市連合医師会などの各団体から構成される「おおいた医療ネットワーク運営協議会」により管理運営等を行っている。

構成団体		
三次救急医療機関	二次救急医療機関	大分市連合医師会
大分市歯科医療関係協議会	大分市薬剤師会	大分市